

中学歴史プリント（基礎確認）

昭和時代（戦前）

名前

得点

／15

問1 1929年に発生した世界的な経済の混乱に対し、自国の経済を守るために植民地を持つ国々がとった経済政策を何という？

1. 世界恐慌 2. オイルショック 3. 関東大震災 4. バブル崩壊

問2 五・四運動の影響を受け、その後の中国の民族主義的な政党として勢力を拡大した組織を何という？

1. 自由党 2. 共産党 3. 立憲改進黨 4. 国民党

問3 世界恐慌からの脱却を目指し、積極的な公共事業などを行ったアメリカ合衆国の大統領は誰？

1. フーヴァー 2. トルーマン 3. ローズベルト 4. ウィルソン

問4 ナチスがドイツで権力を握った際、言論や思想の自由を奪い、すべての権力を一つの政党に集中させた体制を何という？

1. 議会制民主主義 2. 一党独裁体制 3. 二大政党制 4. 絶対王政

問5 国際連盟脱退後、日本が接近していったヨーロッパの国を何という？

1. ドイツ 2. イタリア 3. 日本 4. ソ連

問6 金融恐慌をきっかけに、日本で資本や預金が集めた少数の巨大銀行を何という？

1. 横浜正金銀行 2. 台湾銀行 3. 日本銀行 4. 五大銀行

問7 太平洋戦争の引き金となった、アメリカが実施した経済制裁を何という？

1. 経済封鎖 2. 対日石油輸出禁止 3. 三国軍事同盟 4. 日中戦争

問8 1929年にアメリカで発生し、世界中に拡大して経済破綻を引き起こした大不況を何という？

1. リーマンショック 2. 関東大震災 3. 世界恐慌 4. オイルショック

問9 1931年、関東軍が自ら南満州鉄道の線路を爆破して、武力行使の口実とした事件を何という？

1. 二・二六事件 2. 満州事変 3. 五・一五事件 4. 柳条湖事件

問10 1930年、昭和初期の国際協調の動きの中で締結された、海軍の軍備制限に関する条約を何という？

1. ロンドン海軍軍縮条約 2. 九か国条約 3. ワシントン海軍軍縮条約 4. 四か国条約

問11 関東軍が警備を口実に中国東北部に建設した、この事件の要因にもなった鉄道を何という？

1. 東洋拓殖株式会社 2. 南満州鉄道 3. 台湾銀行 4. 日本興業銀行

問12 ドイツがポーランドへ侵攻した際、即座にドイツに対して宣戦布告を行ったヨーロッパの主要国を二つ挙げよ（そのうち一つを答えること）。

1. フランス 2. イタリア 3. イギリス 4. ソ連

問13 第二次世界大戦において、日本、ドイツ、イタリアの3国を中心に結ばれ、連合国と敵対した陣営を何という？

1. 枢軸国 2. 国際連盟 3. 国際連合 4. 連合国

問14 1922年に成立した、当時の世界初の社会主義国家を何という？

1. ドイツ 2. 日本 3. イタリア 4. ソ連

問15 世界恐慌後のアメリカで、失業対策として政府が主導して道路やダムなどを建設した事業を何という？

1. 自由貿易政策 2. 公共事業 3. 金本位制維持 4. 金融緩和政策